

ゆかり

ご挨拶

吉成学区社会福祉協議会
会長 熊谷 英昭

住民の皆様方には、日頃より当社協に対しまして、ご理解とご協力をいただきまして厚く御礼を申し上げます。

昨年の今頃、中国の武漢で発生した新型コロナウイルス感染症が、世界中に蔓延し、只今、欧州ではコロナ流行の「第三波」に見舞われており、外出禁止処置などいろいろな対策を施していますが、ウイルスの急速な再流行を抑制する効果は、即座には表れていない現状が続いています。

日本でも季節の寒さとともに、「第三波」流行の兆しを見せ始めており、お気をつけてください。新型コロナウイルス感染症が続いている状況下に於いて、私ども、社協に携わる者には、一抹の寂しさと不安を否めない状況を感じております。

その理由は、人との対話が減った・サロン活動の自粛・各種イベントの中止・高齢者一人暮らしの住民の安否確認・町内会近所の生活に関する情報の薄弱。互助体制の希薄化などが上げられます。

現在、社協としては、今年度の事業が実施出来ず、実施についての判断の線引きが難しい・ご近所の地域住民同士のコミュニケーションの不足・情報交換の場の不足・他の地域の社協や町内会の地域情報など、正確かつ敏速な情報が入ってこないなどが上げられます。現在辛うじて6人による事務局会議を月1回、役員会議を数回開催した状態です。集会所は面積が狭く密になりやすく、イベントを開催する場所の会議室やホールなども貸し出し禁止や出入りする人数などが制限されている現状が続いている状態です。

地域住民の方から好評であった認知症カフェ「午後の音楽 café」を始めイベント開催を余儀なく中止をしております。今年度の社協は、寂しい思いをしている状態が続いております。また、各町内会にあっては、夏祭り、敬老会、芋煮会など開催ができませんでした。どうか皆様方には、寒暖の変わり目の季節と合せて、ご家族全員で新型コロナウイルス感染症予防対策を施し、万全の対策でこの歳末を乗り切りお過ごしくださいませ、新しい年をお迎え下さるようお願いしております。

尚、令和2年度の社協事業として、青葉区社会福祉協議会宮城支部のモデル事業の一つとして社協職員 CSW のご協力の下吉成社協では、このコロナ禍の中での地域住民の生活状況をアンケート調査にて把握出来ればと、実施する事になりました。町内会のご協力を得て、各家庭に配布させていただきます。ご協力宜しくお願い致します。



アンケート調査にご協力を！

（お願い）

日頃、吉成学区社会福祉協議会の活動に対し、ご理解、ご支援をいただき感謝致しております。

さて、近年、著しく高齢化が進み、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策など我々を取り巻く環境が変化し、当協議会の目的である「吉成学区の住民等が、お互いに支え合って幸せに生活できる福祉社会をつくる！」の取り組みが困難な状況となっております。

今般、仙台市青葉区社会福祉協議会宮城支部（職員 CSW）、国見ヶ丘地域包括支援センター・吉成学区社会福祉協議会の三者合同で「吉成社協 CSW モデル事業委員会」を発足させ、「誰もが暮らしやすい地域づくりに向けて！」をキーワードに「モデル事業」を行う事になりました。

これを踏まえて、皆様に「福祉に関する課題の抽出・解決」のため、「アンケート調査」を、お願いすることといたしました。

何卒、アンケート調査に、ご協力をお願いします。



今後とも、当協議会に対してご支援・ご協力をお願い致します。

* CSW とは：コミュニティソーシャルワーカー

仙台市社会協議会の各区、支部事務所に配置され、地域の福祉課題解決に向けて地域住民と一緒に活動

吉成小学校・吉成中学校の子供たちが地域の枯葉の清掃をしてくれました。



◆ 秋の晴天、11月17日（火）の午後、コロナ禍でちょっと暗い気持ちになっていた時に、地域の公園、道路、集会所などから子供たちの明るい声が聞こえてきました。子供たち皆で落ち葉清掃をしていました。



素敵な活動に感謝！ありがとうございます



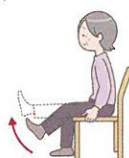
★ 9月2日、第55回仙台市社会福祉大会がトークネット仙台（旧仙台市民会館）にて行われ、吉



おめでとうございます

成から主任児童委員の寺下昌子さんが、**仙台市社協会長賞を受賞されました。**

★介護予防体操が始まっています。
コロナ禍で筋力が落ちていませんか？
お友達と少しおしゃべりしませんか？
感染対策をしっかりとしながら行っています。参加してみませんか。



編集後記：

令和2年度が始まると同時に、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、事業が何も出来ない状態になりました。皆様にはご迷惑をお掛けしています。早くコロナ禍が終息する事を願っております。

編集委員一同